

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

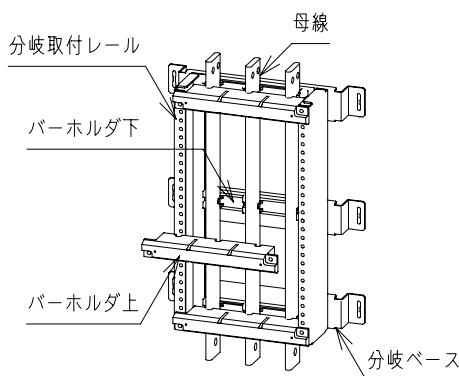
	危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
	注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■使用上の注意

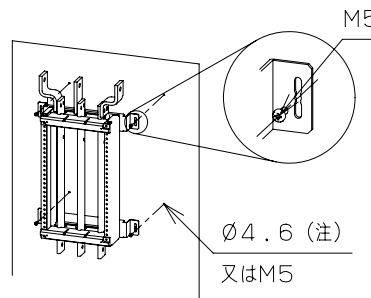
危険	注意														
<p> 感電注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。 内線規程等の法規を厳守して、正しい工事を行ってください。 工事・点検時は主幹ブレーカを必ず切ってください。感電及び短絡による人身事故の恐れがあります。 正しい配線工事をしてください。誤結線があると発火・感電・故障の原因になります。 配線は適合した電線・圧着端子及び圧着工具を使用してください。発熱・火災の恐れがあります。 導電部の接続ねじは、表1の推奨締付けトルクで確実に締付けてください。又、工事終了時に全ての導電部のねじを必ず増締めすると共に、定期的に増締めしてください。ねじが緩んでいると発熱し、火災の恐れがあります。 接地線は接地端子に確実に接続してください。接地工事に不備があると感電の恐れがあります。 <p>表1. 推奨締付けトルク</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>ねじサイズ</th> <th>M4</th> <th>M5^{注1}</th> <th>M6</th> <th>M8^{注2}</th> <th>M10^{注3}</th> <th>M12^{注3}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>締付けトルク(N・m)</td> <td>1.2~1.6</td> <td>2.0~2.5</td> <td>3.0~4.0</td> <td>5.5~7.0</td> <td>13.0~20.0</td> <td>40.0~50.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. M5ソルダレス端子は、1.6~2.0N・m 注2. ドライバー以外の工具で締付けるねじは、8.0~13.0N・m 注3. ドライバー以外の工具で締付けるねじに適用する。</p> <p> 火災の危険性</p> <p> 必ずアース線を接続せよ</p>	ねじサイズ	M4	M5 ^{注1}	M6	M8 ^{注2}	M10 ^{注3}	M12 ^{注3}	締付けトルク(N・m)	1.2~1.6	2.0~2.5	3.0~4.0	5.5~7.0	13.0~20.0	40.0~50.0	<p> 感電注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 改造等したことにより生じた事故については、一切責任を負いません。 次のような場所では使用しないでください。感電・火災等の原因となったり、錆・腐食・割れが発生する恐れがあります。 <ul style="list-style-type: none"> 高温・高湿となる場所 腐食性ガスのある場所 可燃性ガスのある場所 可燃性ガスが漏れる恐れのある場所 有機溶剤・切削油・薬品等のかかる場所 極度に塵埃やオイルミストが多い場所 振動・衝撃のある場所 導電性粉塵（カーボン繊維・金属粉など）のある場所 塩分を多く含んだ環境 水滴のかかる場所 <p> 火災の危険性</p>
ねじサイズ	M4	M5 ^{注1}	M6	M8 ^{注2}	M10 ^{注3}	M12 ^{注3}									
締付けトルク(N・m)	1.2~1.6	2.0~2.5	3.0~4.0	5.5~7.0	13.0~20.0	40.0~50.0									

■各部名称（基本ユニット）



■施工方法

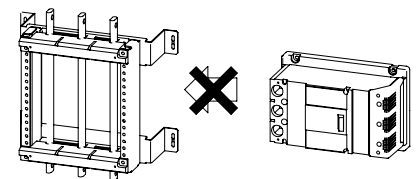
●キャビネット（鉄製基板への取付）



注：鉄製基板厚 ≥ 2.3 の時M5セルフタップねじ下穴。

●ブレーカ取付けの制限について

・幹線容量400A（IPD40-***）は分岐最大250AF/250ATとなっておりますので、400AF以上のプラグインユニット付ブレーカを搭載の際には、幹線容量800A（IPD80-***）をご使用ください。



IPD40-***
(幹線容量400A)

プラグインユニット付ブレーカ
400AF、600AF

■取付方法

●パーホルダの取付位置について

・下記の品名以上の分岐ピッチ数の製品には、ユニット中間部にパーホルダ上が取付けられています。

品名記号：IPD***-***PA

①	幹線容量
②	分岐ピッチ数

パーホルダ上が必要な品名

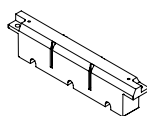
IPD 80-54PA（幹線容量 800Aタイプ）以上
IPD120-54PA（幹線容量 1200Aタイプ）以上
IPD 40-42PA（幹線容量 400Aタイプ）以上

・パーホルダ上はユニットへ取付けるブレーカに合わせて取付位置を変更することが可能です。
・使用するプラグインブレーカに応じてパーホルダ上の取付位置を変更してください。

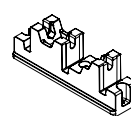
●幹線容量400A以下の時のパーホルダ上・パーホルダ下の取付について

・幹線容量400Aタイプは右図中の分岐ベースTの範囲内でパーホルダの取付位置が変更可能です。
・このタイプの場合、パーホルダ上とパーホルダ下は同位置への取付けとなります。
・パーホルダ上の取付位置に合わせてパーホルダ下を移動させ、分岐ベースTにねじ止めしてください。

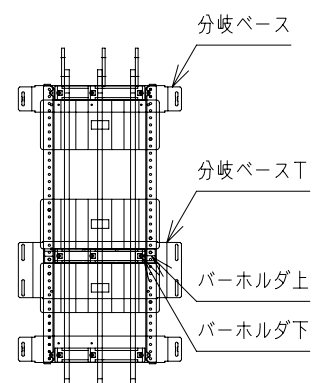
注. パーホルダ下を取付けた位置には、プラグインブレーカを取付けることが出来ません。
パーホルダ下を取付けた位置には、必ずパーホルダ上を取付けてください。



パーホルダ上



パーホルダ下



パーホルダ下・パーホルダ上の位置は分岐内容により変化

■ オプションパーツユニットの取付方法

● 拡張バー

IPD40RLは基本ユニット名IPD40-**-**用の拡張バーです。
 IPD80L、80R、80Wは基本ユニット名IPD80-**-**用
 IPD120Wは基本ユニット名IPD120-**-**用の拡張バーです。

IPD40RL (図1)

- ①基本ユニットIPD40-**-**に標準取付されている拡張バー（平板）を取外す。
- ②IPD40RLにはφ11とφ13の抜き穴があります。母線への取付けはφ11側を使用します。入線方向に合わせて、拡張バーが手前側に来るようにしてください。拡張バーが回転しないようにバーホルダ下の柱に当たる側に取付けてください。
- ③付属のM10ボルトで取付けてください。

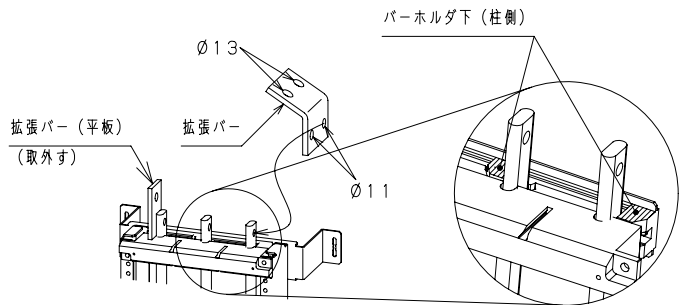


図1

IPD80L, 80R, 80W, 120W (図2)

IPD80L、80R、80Wは母線のφ11×2穴加工されている側を使用、
 IPD120Wは母線のφ11×4穴加工されている側を使用し、
 それぞれM10ボルト2本、4本で固定してください。

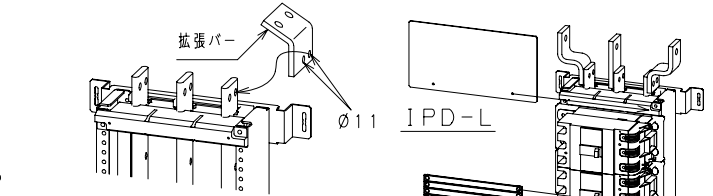


図2

● 充電部保護板、保護板用ブラインド

基本ユニット上下部及びユニット内より露出した充電部を覆うための保護板です。

IPD-S, L (図3)

- ・付属のM4ねじを使用し、バーホルダ上に固定してください。
- オプションの拡張バー（IPD40-RL, IPD80L, R, W）を使用した場合にはIPD-Lを、それ以外の場合にはIPD-Sを使用してください。（IPD120Wの拡張バー部の保護板は受注対応となりますので別途ご用意ください。）

IPD-BS (図3)

- ・付属のM6ねじを使用し、取付けてください。

IPD-PF (図4)

保護板抜きスペース用のブラインドとして使用してください。
 保護板抜き幅寸法95mmの時に使用できます。

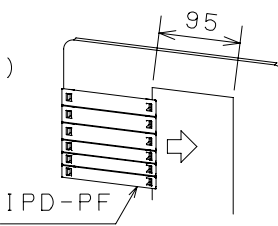


図4

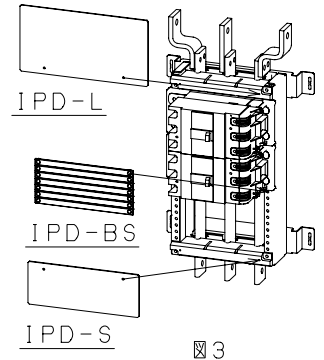


図3

● プラグイン送り端子ユニット、バーホルダ上・下

IPD-200HT (図5)

プラグイン末端のバーホルダを取外して、付属のM6ねじにて取付けてください。
 (400A幹線で使用する場合は、2ピッチ分ずらして使用してください。)

IPD-HU (図5)

母線（φ10フルラウンド）が固定されるように分岐取付レールに付属のM6ねじにて取付けてください。

IPD-HL (図5)

納入仕様書記載の寸法にて、鉄製基板などに付属のねじを使用して固定してください。その後、M8六角ボルトにて母線の固定を行ってください。

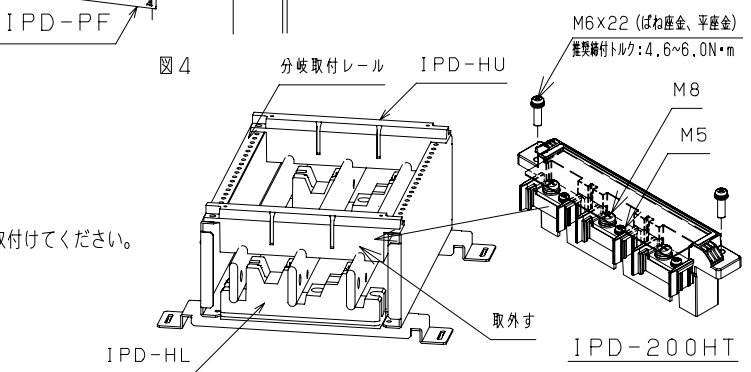


図5

● ブレーカ取付台・主幹リードバー

IPD-40LBS, 40HBS (図6)

- ①鉄製基板などにブレーカ取付台をねじ止めし、400AFのブレーカを取付けてください。（IPD-40HBSは高さ調節金具にブレーカ取付台を取付けます。）
- ②主幹リードバーを使用し、主幹ブレーカと分岐用 i u n i t をM10ボルトにて固定してください。（IPD-40HBSは主幹リードバーにジョイントバーを連結します。）

IPD-80MBS, 80TBS (図6)

- ①鉄製基板などにブレーカ取付台をねじ止めし、600AF（又は800AF）のブレーカを取付けてください。
- ②主幹リードバーを使用し、主幹ブレーカと分岐用 i u n i t をM12ボルトにて固定してください。

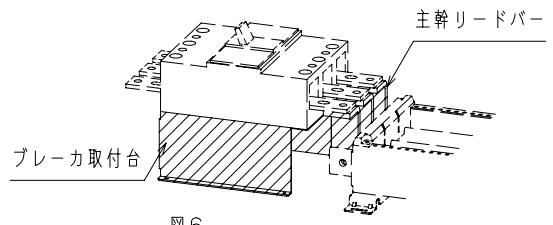


図6

■ 付属品一覧

品名記号 部品名	基本ユニット												オプション						
	IPD40-			IPD80-			IPD120-			IPD			IPD-40LBS				IPD-80MBS		
	14~35PA	42~84PA	92PA	24~30PA	36~60PA	67~92PA	36PA	43~60PA	67~86PA	92PA	IPD10-**-**	IPD160-**-**	40RL	80R, 80L	80W	120W	IPD-40HBS	IPD-40HBS	IPD-80TBS
ナット M5x12	4	6	8	4	6	8	6	8	10	12	-	-	-	-	-	4	4	4	
3点六角ボルト M10x35	3	3	3	6	6	6	21	21	21	21	9	3	6	6	12	3	6	-	
六角ナット M10	-	-	-	6	6	6	21	21	21	21	9	3	6	6	12	3	6	-	
丸座金 M10	-	-	-	6	6	6	21	21	21	21	9	3	6	6	12	3	6	-	
六角ボルト M12x35	3	3	3	3	3	3	-	-	-	-	12	6	6	3	-	-	-	6	
六角ナット M12	3	3	3	3	3	3	-	-	-	-	12	6	6	3	-	-	-	6	
丸座金 M12	6	6	6	6	6	6	-	-	-	-	24	12	12	6	-	-	-	12	
ばね座金 M12	3	3	3	3	3	3	-	-	-	-	12	6	6	3	-	-	-	6	
3点セムスねじ M8x14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3
丸タッピンねじ 4x12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4

品名記号 部品名	オプション								
	IPD-S	IPD-L	IPD-BS	IPD-200HT	IPD-HU	IPD-HL	IPD-PF	IPD-200HT	IPD-200HT
Pタイルメート 4x10	20	20	-	-	-	-	-	-	-
端子ねじ M6x12.2	-	-	20	-	12	-	-	-	-
3点セムスねじ M5x14	-	-	-	3	-	-	-	-	-
3点セムスねじ M6x22	-	-	-	2	-	-	-	-	-
トラスタッピンねじ M5x20	-	-	-	-	-	-	18	-	-
六角ボルト M8x35	-	-	-	-	-	-	18	-	-
スーパーロックナット M8	-	-	-	-	-	-	18	-	-

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は2011年9月現在のものです。

NITTO 日東工業株式会社

© NITTO KOGYO CORPORATION

お客様相談室/愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地

TEL (0561) 64-0152

http://www.nitto.co.jp

B966888005